

MOTTAiINA

サステナブルファッション

繊維加工工場で品質には問題がないのに倉庫で眠っている糸や生地が、丈夫な靴下やおしゃれなトートバックや衣類に生まれ変わっている。愛知県の三河湾のほとりにある「UZUiRO」のブランド「MOTTAiINA」(モッタイイナ)。繊維産業が盛んな地元三河の捨てられてしまうようなもったいない素材を活用し、2020年に「アップサイクル」のブランドを立ち上げ、新たな命を吹き込んでいる。

不要なものを
価値ある商品に

UZUiROのクリエイターたちは、思いつくままにアイデアを出し合い、試作品を作る。

右下のスカートは、布を縦に細く裂いて繋ぎ合わせることでハギレを余すことなく使用し、さらに布を染めることで様々な表情を醸し出すかわいらしい商品に生まれ変わった。他にも三河織物を使った丈夫なトートバックや余った糸を活用した靴下等、デザインやアイデアで新たな価値をもたらすアップサイクルな商品を生産し、より持続可能な産業を目指している。

素材から
デザインを考える

糸の色により余っている量が違い、いろいろな素材の生地があるので、デザインを考える段階で何度も材料の下見に行くこともある。また、人気の出た商品でも生地や糸の在庫がなくなれば生産は終了してしまう。手間がかかり生産効率は良くないが、生地を織る人の顔が見えるからこそ「もったいない」という思いが強く、多くの商品が生み出されている。

UZUiRO